

成果の説明書

(氏名)坪井 明彦	(学部)地域政策学部
1 重要事項	
(1) ゼミ活動：正規の授業以外に PBL (Project Based Learning) として渋川市中心市街地活性化のための調査業務に注力した。	
① 中心市街地通行量調査	
渋川駅前通り沿線における空き店舗対策事業の参考資料とするため、中心市街地の通行量調査を行い、人の流れを検証するものである。この調査は、平成 26 年度を除き、平成 20 年度から継続的に実施しているものであり、本年度は平成 29 年 11 月 26 日 (日) に実施した。今年度は、ショッピングプラザ「うおかつ」の跡地に食品スーパーマーケットの「ベルク」が開店しており、周辺地域の通行量への影響を考える上で貴重な資料となる。	
② 「まちなかの賑わい創出」につながる新たな事業の実践	
空き店舗を活用する市民団体や地元商店街等と連携し、まちなかの賑わい創出につながる特色ある事業を考案・実践するものである。今年度は、12 月 16 日 (土) に、中心市街地商店街において、渋川市中心市街地まちづくり市民サポーターとともに、宝探しゲームと仮装コンテストを実施した。	
③ 中心市街地商店街 (駅前通り) のあり方についての研究	
12 月 16 日 (土) に、エッグホールにおいて、「渋川市中心市街地 (駅前通商店街) の今後の在り方に関する調査と提言」として、坪井ゼミナール 3 年生がプレゼンテーションを行った。実際に渋川市中心商店街に関する市民の意識や商店主に対する調査も 6 月～7 月に 2 回実施しており、それらの内容を踏まえて、「今後の在り方」に関する提言を行った。渋川市中心市街地活性化のための調査 『平成 29 年度渋川市中心市街地活性化のための調査報告書』(平成 29 年 3 月) 参照)。	
(2) 学会活動	
① 日本ビジネス実務学会における活動	
日本ビジネス実務学会副会長として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力した。	
② 日本地域政策学会における活動	
事務局長 (理事) として、学会運営のために尽力した。	
③ 地域活性学会における活動	
副編集委員長 (理事) として、学会誌『地域活性研究』の発行や全国大会運営のために尽力した。	
④ 日本経営診断学会における活動	
理事として、学会運営のために尽力した。	
2 その他の事項	
入試担当学部長補佐として、平成 32 年度以降の入試改革の原案作成や平成 30 年度入試業務のために尽力した。	
3 次年度以降の計画・抱負	
2008 年度以降継続してきた受託調査「渋川市中心市街地活性化のための調査業務」は平成 29 年度をもって終了となったが、2018 年度においても引き続き、ゼミ活動を	

通じた PBL に取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。

平成 30 年度は、第 2 次渋川市中心市街地活性化プラン策定委員会の委員長を務める。

教育・研究以外でも地域活性化に貢献していきたい。